

ふれあい名古屋

Fureai Nagoya

2025
夏号

CONTENTS

② 福祉クローズアップ

特集

社会福祉法人等による地域における 公益的な取り組みの促進

④ 市社協事業紹介

⑤ 区社協活動最前線 中川区社会福祉協議会

⑥ 想いをつなぐリレートーク

⑦ ほっとはあとコーナー

- 旬ボラに行く！
大須夏祭り 中学生が盛り上げます！
- きらっとボランティア・NPOらいぶ
笑いを届ける「落語」× 相手の話に耳を傾ける「傾聴」
(ハッピー演芸落語会) (こころん昭和)
- なごやボラめぐり
中村区 地域とつながる「八社多文化教室」の
代表・宮田さんに話を聞きました。
昭和区『昭和おやじ会』を紹介します。

⑩ からだに優しいいきいきレシピ プレゼントつきクイズ

⑪ インフォメーション 社協からのお知らせ

⑫ ご寄付・ご寄託・賛助会員のご紹介



ひとにひたむきに。
社会福祉法人
名古屋市社会福祉協議会



▲ Uni-Voice
高齢者や目の不自由な方
のための音声コードです。

特集

社会福祉法人等による地域における 公益的な取り組みの促進

～なごや・よりどころサポート事業を通じて～

名古屋市内の社会福祉法人が連携し、地域の課題に取り組む「なごや・よりどころサポート事業」。複雑化する地域課題に対し、既存の制度やサービスだけでは対応できない状況が増える中、社会福祉法人の専門性や活動基盤を活かした公益的な取り組みを通じて地域課題の解決を目指しています。事業の概要について地域福祉推進部の中島主事にお話を伺いました。

なごや・よりどころサポート事業とは？

「なごや・よりどころサポート事業」は、社会福祉法人が地域の「よりどころ」となることを目指した取り組みです。この背景には、平成28年の改正社会福祉法により、社会福祉法人の責務として「地域における公益的な取組」の実施が明記されたことがあります。「改正法により、社会福祉法人が自身のサービス提供にとどまらず、地域住民に向けた公益的な活動を求められるようになりました。この流れを受け、市内の社会福祉法人に呼びかけ、名古屋市社会福祉協議会が事務局として本事業を立ち上げました」と中島主事。

現在、69法人175施設が参加し、それぞれの特色を活かした取り組みを展開しています。

事業の4つの柱

居場所・サロンづくり事業

地域の交流を促進し、ちょっとした困りごとなどを気軽に相談できる場として、施設の機能を活かした居場所やサロンを提供。



屋外で行うサロンもあります

地域のよりどころ相談窓口事業

住民の生活や福祉に関する相談を受け付け、必要に応じて適切な支援機関につなぐ窓口。令和5年10月からの試行実施段階で27施設が参加、令和7年4月からの本格実施時には43施設へ拡大。



この、のぼりが目印です

若者よりそいサポート事業

児童養護施設等を退所した若者の自立を支えるため、進学・就職時の生活相談や経済的支援を実施。若者の社会経験を広げるため、ボランティア活動の場も提供。



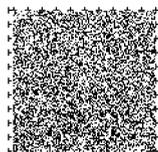
大学を卒業して児童養護施設で働いています

就労支援事業

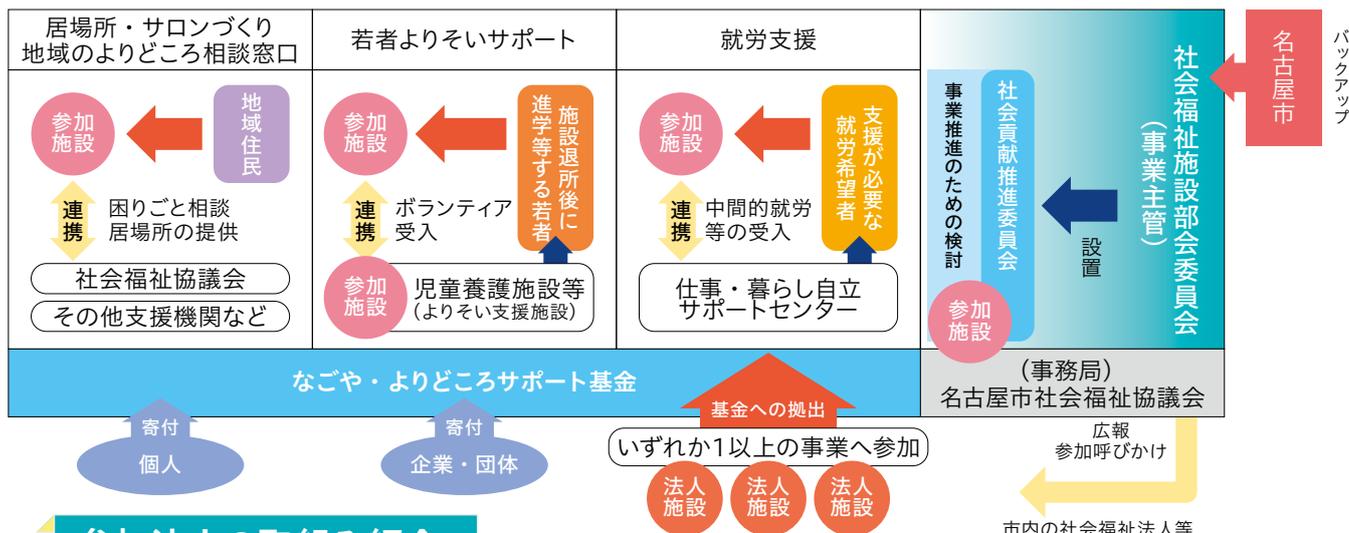
働きたいけれど経験がない、なじめない人たちに中間的就労の場を提供。労働へのステップを支え、自立支援に向けた援助を行う。



事業を利用して就労につながりました



なごや・よりどころサポート事業全体像



参加法人の取組み紹介

■社会福祉法人緑生福祉会
特別養護老人ホーム・ケアハウス・デイサービス 南生苑

「居場所・サロンづくり事業」に参加

毎月の地域交流企画では、地域住民を招き、職員や団体による多様なプログラムを提供。喫茶コーナーも併設しています。

■社会福祉法人中央有鄰学院 児童養護施設ゆうりん

「若者よりそいサポート事業」に参加

退所者支援を積極的に実施。独自のイベントとして、年末年始のお泊まり会や夏キャンプ、フェスティバルなどを企画し、退所者が参加しやすい環境を整えています。

■社会福祉法人新生会 あしたの丘

「地域のよりどころ相談窓口事業」に参加

施設としてもっと地域の役に立ちたいとの思いで本事業に応募。他の相談機関や事業所へのサービス紹介を行い、地域とのさらなるつながりを築いています。

公益的取組への考え

地域住民と利用者が健康づくりと交流を楽しむ場を提供するとともに、地域住民に施設を知ってもらいたい。「地域の中の南生苑」として、頼れる存在になることを目指しています。



南生苑職員 中園さん

公益的取組への考え

退所者がいつでも気軽に相談できる環境を整備。地域のネットワークづくりを通じて切れ目のない支援を目指し、支援の輪を広げ、社会の変化につなげています。



ゆうりん職員 永田さん

公益的取組への考え

地域のつながりを深める活動を重ね、障がい者への理解も進んでいます。地道な情報発信や活動参加を通じて、地域との相互の支援と交流を大切にしています。



あしたの丘職員 根本さん

今後の展望 について

現在、本事業に参加するのは、名古屋市内の社会福祉法人の約3分の1。さらに多くの法人・施設に関わってもらい、支援の幅を広げていきたい。そのために、広報誌「よりどころ通信」(年3回発行)を通じて情報発信するほか、令和7年4月からはより広い層を支援する「地域のよりどころ相談窓口事業」を本格稼働。「異なる分野の施設間の連携を強化し、地域全体で包括的に支え合うしくみを作っていきたい」と中島主事は意欲をにじませます。

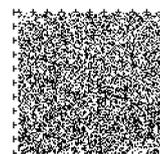
参加法人募集中!

一緒に地域の支え合いの輪を広げましょう

社会福祉法人 名古屋市社会福祉協議会
なごや・よりどころサポート事業 事務局
〒462-8558
名古屋市北区清水四丁目17-1
名古屋市総合社会福祉会館5階
TEL: 052-911-3193



地域福祉推進部 野々部次長、梅本主事、中島主事



わたしたちは名古屋市社会福祉協議会です

—「誰もが安心して笑顔で暮らす福祉のまち名古屋」の実現のために—

地域住民同士の助け合いをサポートします

- 地域支えあい事業
- ふれあい・いきいきサロン活動
- 地域福祉推進協議会（推進協）の支援

住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、住民が主体のまちづくりを支援しています。



生活の困りごとの解決を支援します

- いきいき支援センター
- 仕事・暮らし自立サポートセンター
- 住まいサポートなごや

本人やご家族などから生活の課題についてのご相談を受け、解決に向けて関係機関と協力しながら支援します。



ボランティア活動・福祉教育を推進します

- ボランティアセンター事業

ボランティアやNPO活動に関する情報発信や、ボランティアしたい方としてほしい方のマッチングを行います。
市内のボランティア団体のネットワークづくりも行っています。



判断能力に不安のある方の暮らしや財産を守ります

- 日常生活自立支援事業
- 高齢者・障害者権利擁護事業
- 法人後見事業

障がいや認知症などで判断能力に不安がある方の金銭管理や、成年後見制度に関する相談、申立ての支援を行っています。



在宅福祉サービスでその人らしさを応援します

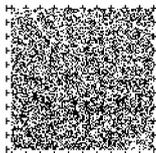
- なごやかヘルプ事業
- 居宅介護支援事業
- デイサービスの支援

ホームヘルパー（なごやかスタッフなど）の派遣や居宅サービス計画の作成などを通して、高齢者や障がいのある方の生活を応援します。



他にもこんな取り組みがあります

- 指定管理施設の運営
（とだがわこどもランド、鯉城学園、総合社会福祉会館）
- 福祉サービス苦情相談センター
- 福祉基金の運営





Vol.61

中川区社会福祉協議会

■生活の困りごとに応える「地域の応援団ボランティアグループ」

“住み慣れた地域での暮らしを応援する”ことを目的に、電球交換、庭の草刈り、部屋の片付け、粗大ゴミの搬出など、“日常生活の困りごとサポート”で力を発揮する「地域の応援団ボランティアグループ」。区内の地域支えあい事業の未実施学区（令和6年度末時点区内24学区中16学区）を中心に活動しています。今回、活動に関わる皆さんにお話を伺いました。

■区社協とも連携しながら進化

グループの歴史は10年以上。第3次中川区地域福祉活動計画から発足し、網戸の張替えの活動が原点です。住民からのさまざまな依頼に応じながら、自作の道具をつくるなど、やり方を工夫してきました。月1回の定例会には区社協の職員も参加し、依頼者との顔つなぎやメンバーの拡充に向けた取り組みなど、お互いの活動が連携・協力しあえる関係を築いてきています。現在、ボランティアメンバーは13人。ベテランから初心者まで、年齢は40代から80代まで在籍していて、それぞれの強みを活かして活動しています。

■“はじめてのボランティア”の受け皿に

「ボランティアに興味はあるけれど、何から始めればよいかわからない」という方にとっても、この活動は最適だといいます。「グループには、ゴミの

まとめ方一つとっても『なるほど!』と感心させられる技を持つボランティアさんが在籍しています。初めての方には心強いと思います」と話すのは中川区社協の加島さん。実際、参加メンバーの一人は「頼りになる先輩と活動する中で、自分も役立てることがあると実感できた」と振り返ります。

次ページへ続く



今後の展望

「ボランティア初心者だけでなく、悩みを抱えている人の社会参加や多世代交流のきっかけになるケースもある」と、中川区社協ではこのグループが区内の幅広いニーズに応えるしくみのひとつとなることを期待しています。最近では、地域支えあい事業の実施地域への協力や、児童発達支援事業所への「サンタクロース派遣活動」など、生活支援以外の依頼にも少しずつ活動を拡大。今後はさらに気軽に誰もが参加・依頼できるしくみづくりに取り組んでいくそうです。

地域の力をつなぐ応援団、一緒に参加しませんか？

「依頼者さんからの感謝の言葉がやりがいです！まずは定例会に参加して、活動を見学してみませんか？」（ボランティアの皆さん）。また、日常生活での困りごとの「相談」も随時受け付けていますので、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ

中川区社会福祉協議会

住所：中川区小城町1-1-20 TEL：052-352-8257



中川区社会福祉協議会の徳廣さん、加島さん
ボランティアメンバーの須崎さん、成田さん、渡辺さん、

リレートーク



リレートーク 61



社会福祉法人なごや福祉施設協会
なごやかハウス福原（ケアハウス福原）

当施設では毎年夏休みに、地域の小学生対象に介護や福祉について学ぶ介護体験企画「キッザケアふくはら」を行っています。

施設や介護の話、車いす体験、介護食の試食体験等、盛りだくさんのプログラムに、最初は緊張していた子どもたちも体験型のプログラムを行う中で緊張もほぐれ、職員や入居者さんと楽しく交流できるようになります。特に小物づくりでは、子どもたちが来るのを楽しみにしていた入居者さんのサポートもあり、素敵な作品ができ、笑顔あふれる時間になります。



施設長より

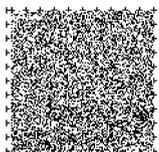
「キッザケアふくはら」は、若い世代に施設のことをもっと知ってもらいたいと思い、始めました。体験後は、子どもだけでなく親御さんからもアンケートでご意見をいただき、親御さんへのアプローチにもつなげています。

開催前の準備は大変ですが、開催後のアンケートで「次回も参加したい」、「施設に親しみをもちイメージが変わった」など嬉しいお言葉をいただくと、やってよかったと毎回思います。

またケアハウスの入居者も子どもとの交流を大変喜んでおり、「自分にもまだやれることがあるんだ」と思ってもらえることも嬉しいです。

また施設内の様々な職種の職員が積極的に関わっており、職員同士の団結力が強くなっていると感じています。

（施設長・大竹隆史）



次回はこちらへ
バトンタッチ！

名古屋市重症心身障害児者施設 ティンクルなごや

旬ボラを行く!

ほっとはあと 01

大須夏祭り 中学生が盛り上げます!

(インタビュー：ねこめい)

大須商店街の夏祭りは、地域の人々とボランティアと一緒に楽しみながら運営しています。今回は商店街連盟の井上誠さんと、昨年初めて夏祭りボランティアに参加した名古屋市立前津中学校の杉崎以空さん、中山さらさん、岡部晴里杏さん、湯浅太智さんに、中学生と地域ボランティアというテーマで対談して頂きました。

●「ボランティアって楽しいじゃん!」

杉崎 ボランティアは自分とは無縁な世界だと思っていたんです。でも夏休みに先生に紹介されて、「友達もやるし…」って軽く参加しました。私は人と話すのが得意じゃないから当日まで「無理かも」と不安だったんですけど、やってみると、意外とボランティア楽しいって思えました!

湯浅 僕も、楽しかったです。僕はすぐに新しいこと始めたくなるんですよ。小学校の頃からサッカーとか卓球とかハンドボールとか色々やらせてもらって、そういう経験ってお金がかかるじゃないですか。でもボランティアだったら新しいことに「無料」でチャレンジできて、しかも地域の人に喜んでもらえて、いいじゃん!って思いました。

井上 自分で決めて参加してくれたのが嬉しいな。自分でやるぞと決めたボランティアさん達が集まると、団結力や一体感が生まれてすごく楽しい雰囲気になるんですよ。それがお客さんや他のスタッフにも伝わって、毎年いい祭りになっていくんですよ。

●ボランティアで、見える世界が変わる?

岡部 学校のキャリア学習では、自分の持ち味や生きていく上で大切にしたい価値観と向き合ってきたんです。でもいざ自分の持ち味を考えた時、学校生活の中の、勉強とか部活とかのことしか思いつかなくて。でもボランティアで、学校の外でしか経験できないことをやれて、新たな持ち味に気付けたんです!私って、実は初対面の人とでも全然気にせず話せたんだ〜、みたいな。



みんなでチーム前津ポーズ
写真左から：井上さん、杉崎さん、中山さん、岡部さん、湯浅さん

中山 そうそう!漠然と「得意だ」って思ったことが裏付けされて、本当の自信に繋がった気がしたよね。あと友達の新たな一面や持ち味に気付いて、尊敬できる部分も増えたし。

井上 僕も自営業でずっと同じメンバーで働いていたから、自分が凝り固まっちゃってるなと感じたことがあって。それで商店街連盟という新しい世界に飛び込んでみたんです。大人でも行き詰まるときがあるんですよ。だから学校や仕事以外の逃げ道みたいな、ボランティア活動でも自分の好きなことでもいい。そういうことが心を安定させると思います。中学生の時からボランティア経験をするのはすごい宝になると思います。勉強ばっかやっててもいけないよ(笑)

●あの美味しさを多くの人に味わってほしい

中山 ボランティアって前向きな「善人」のような人たちがやってくれてるものだって思っていて、私は別にやらなくていいやって思ってたんです。でも任せきりにするよりも自分でやってみたら面白いかもって今は思います。あと、働くことの対価っていうのはお金だけじゃないんだな、って。経験とか人との繋がりも超重要だし、ボランティアやっていると差し入れでもらった冷たいお茶とか、ほんとに美味しかったな〜。

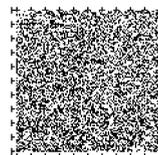
全員 分かる!(笑)

きっかけや理由は人それぞれでも、大人子ども関係なく、地域を愛する一人のボランティアとして笑顔で堂々とお話される姿が輝いていました!大須夏祭り、ぜひお越しください!



お揃いのTシャツで
「ボランティア頑張るぞー!」

お問い合わせ
大須商店街 <https://osu.nagoya/ja/>



きらっと/ ボランティア・NPOらいぶ

ほっとはあと 02

笑いを届ける「落語」×相手の話に耳を傾ける「傾聴」 (ハッピー演芸落語会) (こころん昭和)



(左から塩見さん、日比野さん)



左うちわ暢気さんの一席
(塩見さん)

活動内容が相反するようなボランティア同士の対談企画です。

高齢者施設などで落語を披露している噺家「ハッピー演芸落語会」の塩見夏紀さんと、話を聴く傾聴「こころん昭和」の日比野勝さんに、互いの活動について、笑いあり、頷きありの話を伺いました。

●それぞれの活動のきっかけ…

塩見さん(高座名:左うちわ暢気)は、両親の影響を受け、幼少の頃より「落語」が身近にあり、大人になって海外での生活も長くなった頃の心の支えも「落語」だったと、「落語愛」を語ってくれました。対して日比野さんは、愛知万博でのボランティア活動をきっかけに、現在までの活動歴をお話してくださいました。

塩見) 私は海外生活ですこし辛い時など、子どもの頃から親しんでいた落語が心の拠り所になっていました。もし帰国したらやってみようと思っていたら、帰国が決まり落語を習い始めて。それがすごく楽しかったんです。所属する「ハッピー演芸落語会」は、元々はカルチャースクールで落語を習った方が、年1回大須演芸場で披露するだけでなく、発表の場を求めてボランティア登録をしたのが始まりです。師匠の高座名に「幸福」とあるのでそこから団体名が誕生しました。

日比野) 僕はボランティアをするために、58歳で会社を辞めました。愛知万博の時のボランティアに参加して、そこから22年くらいやっています。

傾聴ボランティアは、ボランティア連絡会の部会から養成講座を開催し、その講座の卒業生で「こころん昭和」を立ち上げました。僕は人が好きで、グループを作ったりすることも好きだから、傾聴以外にも男性の会なども立ち上げたりして、活動が広がっています。

●活動の工夫。そこには話し手も聞き手も共通して「相手を思う行動」がありました。

塩見) 落語をするときは相手が喜んでくれることが1番。自分がしゃべって気持ちいいだけじゃ意味がなくて、施設では、「ゆっくり、分かりやすく」と心掛けています。「じゅげむ」の演目だと、

漢字をフリップに書いて見せたりして、話だけだと寝る人もいますが、紙を見ると「ああー」と起きてくれるんです。

日比野) 傾聴だと、昔の写真やおもちゃの写真を持って行って、「これ知っていますか?」と。話のきっかけにそういう物を用意する人もいます。言葉だけじゃなくて、話してもらうきっかけをそれぞれに工夫していますね。でも、相手が話さなくても寄り添う、その気持ちを受け取ることも難しいですが大切です。

●「相手を思う」その先に、やりがいがある。

塩見) 楽しみに待っていていると思うとやはりその期待を裏切ることができないし、その落語がつまらないものだ、すごく悲しいなと思って。すごく責任重大です!施設の訪問で思うのは、変化の少ない毎日に、楽しい気持ちになって部屋に戻ってもらえたらいいなと思っています。懐かしかった、面白かったと意見を言ってくれると本当に嬉しいです。

日比野) やっぱり「また来てね」「今日は良かった」と言っていたら、自分が来てよかったんだと納得できる。相手が喜んでくれるとやりがいがあるね。やりがいがあるから続けられるんだろうと、仲間とも話しています。

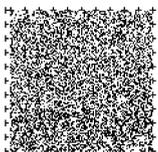
●ボランティアを考えている人へ、メッセージをいただきました。

塩見) 目の前の方に喜んでもらえることを一番に大事にしてもらうといいかなと思います。

日比野) 人と話をすることが一番の原動力、生きる一番の意味だと思う。傾聴はその人が楽しく過ごす時間をいかに作るかだと思います。傾聴は家でもできます。家族の話を、家族の話すタイミングで聴いてみてください。



ボランティアの養成もしています
(日比野さん)



お問い合わせ

ハッピー演芸落語会: happyrakugo@gmail.com

こころん昭和: 昭和社会福祉協議会 (052-884-5511)

なごやボラめぐり

ほっとはあと 03



韓国の伝統的なお正月のゲーム「ユンノリ」を体験



カードゲームを楽しんでいる様子

中村区 地域とつながる「八社多文化教室」の代表・宮田さんに話を聞きました。

◎「八社多文化教室」とは？

「八社多文化教室」は、地域のフードパントリー活動を基盤に、2023年10月にスタートした子ども向けの居場所です。「多文化教育」を軸に、子どもたちが気軽に通える“地域の第3の居場所”を目指しています。

◎設立のきっかけ

私自身、大学での学びや日本語教室でのボランティア経験を通じ、多文化交流の場をつくりたいという思いが芽生えました。一方で、フードパントリー活動では、ひとり親世帯や不登校の子どもに関する相談も多く寄せられていました。こうした「想い」と「地域の声」が重なり誕生したのが、この教室です。

◎果たす役割

この教室は、学校でも家庭でもない「地域」という第三の場所で、子どもたちが安心して過ごし、他の世代や文化と出会える空間です。実際に、学校に居場所を見つけれない子や、家庭の事情で孤独を

感じやすい子どもたちが、自分の意志で「行きたい」と思える場になりつつあります。

活動当初は日本語支援を視野に入れていましたが、現時点では参加者の多くが日本人です。そこで現在は「異文化理解の促進」をテーマに、世界の文化や価値観に触れながら、交流のきっかけを生み出すアクティビティを行っています。

◎今後の展望

今後は、地域に多く暮らす外国ルーツの子どもたちの参加も促し、日本語や学習支援を組み合わせた教室へと発展させたいと考えています。日本人の子どもたちにも日本語支援の活動に関わってもらうことで、存在意義や国を超えた友情が芽生えるような空間を目指しています。多文化共生の一步を、地域から。そんな思いで教室を育て続けています。

問い合わせ先

八社多文化教室（代表：宮田）

hassha.multiculturalclass@gmail.com

昭和区 『昭和おやじ会』を紹介します。

「昭和おやじ会」は、昭和区ボランティア連絡協議会（以下、ボラ連）が主催で行うボランティア講座『おれのおやじ塾』の受講生で、2015年に結成された男性だけのボランティア団体です。今では18名のメンバーが活動しています。

活動内容は年に4～5回の茶話会のほか、歴史講座や史跡巡り、工場見学など毎月イベントを企画して会員同士の交流を行っております。最近では盛田酒造の酒蔵開きに行ったり、茶話会の前に鶴舞公園でお花見をしたりしました。毎年3月にはシティマラソンのボランティア活動にも参加しています。12月にはメンバーの指導のもとで料理教室が開かれ、みんなで楽しく美味しい料理を作って食べました。その他にも、ボラ連の加入団体として、ボラ連の各行事にも参加・協力しています。

昭和おやじ会結成のきっかけとなった『おれのおやじ塾』は、令和6年度から『大人の学び舎』として募集対象を男性に限らず様々な方にご参加いただけるようにリニューアルされましたが、昭和おやじ会のメンバーは変わらず募集中です。私たちと一緒に「自宅に引き籠らず 今日行く（教育）、今日用がある（教養）に心懸け 体力作り」をしたい方はぜひご連絡ください。

問合せ先

昭和区社会福祉協議会 電話052-884-5511



シティマラソンボランティア活動



盛田酒造見学の様子

ひとこと😊ほっとはあと

大谷選手を見ない日はないくらい野球が盛り上がっていますね。日本球界にも他チームファンにも愛されてきた名選手がいました。巨人軍の王さんと長嶋さんです。几帳面でクールな王さんと派手で陽気な長嶋さん。

1968年9月、ある事件が起こりました。阪神の投手は、2球連続で王の顔スレスレの球を投げ、代わった投手の投げた球は王の後頭部にあたり、王は担架で運ばれたのです。当然、両軍は乱闘に。乱闘後、バッターボックスに立ったのは4番、長嶋。1球目、また、顔スレスレのボールがきました。それにひるむ長嶋ではありません。2球目のカーブをひきつけて見事な3ランホームランになりました。いつもと異なり長嶋は、表情を抑え静かに淡々とベースを回っていきました。もちろん、観客は長嶋さんの心が最高潮に燃えていたことを知っていました。

（ペンネーム シャオムー）





いきいきレシピ

手軽で栄養満点♪暑い夏にぴったり
ツナとトマトの冷製そうめん



材 料 (2人分)

- そうめん …… 200g
- トマト …… 1個 (150g程度)
- ツナ油漬け …… 1缶 (70g程度)
- オリーブオイル …… 大さじ2
- ポン酢 …… 大さじ2
- 水菜 …… 適量 (50g程度)
- 粉チーズ …… 小さじ2
- 黒こしょう …… 少々

抗酸化作用のあるビタミンCやリコピンを豊富に含むトマトは、紫外線による肌のダメージを和らげ、水分補給にも適しています。一方、ツナは良質なたんぱく質を含み、筋力の維持に効果的。ひんやり冷たく、さわやかな風味のそうめんが食欲を増進させ、夏を元気に乗り切れる一品です。

- ① トマトのヘタを切り落とし、種を取り除いて1cm角に切る。
- ② ボウルにオリーブオイル、ポン酢を入れて混ぜたあと、①とツナ油漬け※を加えて混ぜ合わせる。
※油が気になる場合は、軽く油切りしてください。
- ③ 2Lのお湯を沸騰させ、そうめんを茹でる。茹で上がった後湯切りし、流水で冷やして水気を切る。
- ④ 器にそうめんを盛り付け、上から②をかける。水菜、粉チーズを盛り付け、最後に黒こしょうをふりかけて完成。

プレゼントつきクイズ

熟語を完成させて、プレゼントをもらおう!

まん中の□に漢字を入れて六つの二字熟語を完成させる穴埋めクイズです。□に入る漢字を組み合わせるでできる四文字熟語は何でしょう?

専 執 概	開 触 活	奮 再 縁	統 択 万
↓ ↓ ↓	↓ ↓ ↓	↓ ↓ ↓	↓ ↓ ↓
□ □ □	□ □ □	□ □ □	□ □ □
↓ ↓ ↓	↓ ↓ ↓	↓ ↓ ↓	↓ ↓ ↓
願 頭 力	展 見 言	業 床 源	途 瞬 貫

応募要項 郵便はがきにて①問題の答え、②住所、③氏名、④「ふれあい名古屋」本号で興味のある記事と理由、本紙に対するご意見を書いて下記までお送りください。

締切は2025年8月31日必着

〒462-8558 名古屋市北区清水四丁目17-1 名古屋市社会福祉協議会「ふれあい名古屋」係

正解発表

2025年冬号誌上にて発表。正解者の中から抽選で10名様に名古屋市総合社会福祉会館にて展示・販売中の授産施設製品の中から500円相当の品を差し上げます。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

個人情報について

応募いただいた個人情報は賞品の発送および本紙の企画以外に利用したり、第三者には提供しません。いただいたご意見・ご感想の一部を次号の「読者の声」でご紹介させていただく場合があります。

前回の答え

サ	イ	ク	リ	ン	グ
①→ ↓ ダ	⑦ ↓ イ	⑨ ↓ ガ	⑩ ↓ ク	⑬ ↓ イ	⑮ ↓ モ
② → イ	キ	ツ	ギ	リ	
ヤ		ツ		⑫ ↓ サ	
④ → グ		⑤ → ポ	⑪ ↓ イ	⑭ ↓ ス	⑯ ↓ テ
③ → ラ	ゲ	⑧ ↓ ー	ジ		⑬ ↓ ン
④ → ム	キ	ズ		⑥ → フ	グ

読者の声

前号
ふれあい名古屋
3月号より

●きらっとボランティア・NPOらいぶについて

外で生活している人たちを援助・支援しているボランティアがあることを初めて知りました。“本人さんの意思を尊重する”“探さないでと言われたら探さずに見守る”という考え方にも共感できました。困ったときに「助けて」と言える社会づくりが大切であると思います。

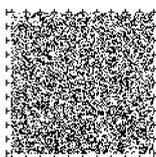
●なごやボラめぐり『マジックQ』について

マジックが大好きで、すごく興味のあるお話でした。来年度、マジックボランティアの養成講座ぜひ見に行きたいです♪また、いきいきレシピの「いちごの豆腐のムース」を作ってみました♪美味しくてリピート!また、豆腐を使ったレシピ、教えてほしいです♪

おたより
ありがとうございました!



な～や

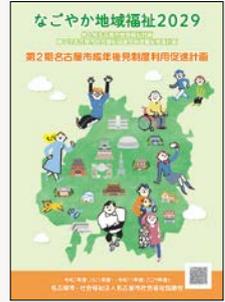


社協からのお知らせ

「なごやか地域福祉2029」を策定しました!

「なごやか地域福祉2029」(第4期名古屋市地域福祉計画・第7次名古屋市社会福祉協議会地域福祉推進計画:令和7年度~令和11年度)は、地域共生社会の実現が求められる中、地域の誰もが生きがいや役割を持って、つながり支えあいながら、自分らしく暮らし活躍できる、より豊かな地域社会を目指し、地域のすべての構成員が主体的に関わっていくための方向性を指し示す計画として、名古屋市とともに策定したものです。また、同時掲載されている「名古屋市成年後見制度利用促進計画」は、成年後見制度の利用促進に関する法律に基づき、名古屋市における権利擁護支援の推進に関する施策についての基本的な計画として策定されたものです。

計画の冊子は、市政情報センターや各区役所の情報コーナー、市・区社会福祉協議会等にて配布する予定です。ぜひ、ご覧ください。



なごやか地域福祉2029 | 検索

※ホームページでもご覧いただけます

名古屋市障害者差別相談センター

みんなで学ぼう! 障害者差別解消講座(無料講師派遣)のご案内

名古屋市では、障害のある人もない人もともに尊重しあいながら、誰もが安心して暮らせるまちづくりをめざしています。本センターでは、市民や企業の皆様に「障害者差別解消法」に関する知識や理解を深めていただくことを目的に出前講座(無料講師派遣)を行っています。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を掲げたSDGsの観点からも、ぜひご活用ください。



● 講座内容 **オンライン開催OK**

障害の考え方、障害者差別解消法の説明、相談事例から学ぶ合理的配慮、ユニバーサルデザイン、グループワーク 等

● 対象

市内の市民団体・グループ、企業 等



お問い合わせ・申込先

名古屋市障害者差別相談センター

TEL : 052-856-8181

FAX : 052-919-7585

Email : inclu@nagoya-sabetsusoudan.jp

URL : <https://nagoya-sabetsusoudan.jp>

「認知症サポーター」になりませんか? 認知症サポーター養成講座のご案内

「認知症サポーター」とは、認知症についての正しい知識を持った、認知症の人やご家族の応援者です。各いきいき支援センターで定期開催や、皆様の地域へ何う出張講座を行っています。お気軽にお近くのいきいき支援センターにお問い合わせください。



● 講座時間 90分 (小・中学生は授業の1コマで行うことができます)

● 講座内容

わがごととして考えてみよう(認知症サポーターはどんなことをしているの?等)/認知症とともに(当事者から認知症サポーターの皆さんへ今伝えたいこと等)/認知症を理解する(認知症とは?等)/相談先・頼りになるところ/生活を支える制度 等(7月から内容を一新した講座が始まりました)

お問い合わせ先
**いきいき
支援センター**



(名古屋市のHPの二次元コード)

「ボランティア保険」にご加入ください

「ボランティア活動保険」は、ボランティア活動中における傷害事故と賠償事故をセットで補償します。活動場所に向かう往復途上も対象になります。

補償期間は、毎年4月1日から翌3月31日まで(年度途中の加入もできます)。補償期間中に複数のボランティア活動をしている場合、一度の保険加入で他のボランティア活動も補償の対象となります。

行事毎に加入するタイプの「行事用保険」もあります。安心してボランティア活動をするためにも、ぜひご加入ください。

● 申込方法

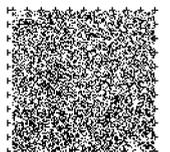
申込書に必要事項を記入・押印のうえ、掛け金を添えて、各区社会福祉協議会または名古屋市社会福祉協議会窓口まで。

(「行事用保険」については窓口手続き後、申込者自身にて掛け金を振込みしていただきます)

**名古屋市社会福祉協議会
ボランティアセンター**

TEL : 052-911-3180

FAX : 052-917-0702



ご寄付・ご寄託・賛助会員のご紹介

ご寄付ありがとうございました

令和7年1月16日～令和7年5月15日受付分（敬称略・順不同）

■福祉基金への寄付

長谷エコーポレーション名古屋
小杉 政巳
ガイド株式会社
名古屋市一般廃棄物事業協
同組合
村松 直樹

フクシマガリレイ株式会社
中部支社
カシワギ電気株式会社
雨森 新一
岐阜信用金庫
王 神

水谷 友子
住友 誠、住友 陽子
名古屋市健康福祉局ワンコイン運動
名古屋市子ども青少年局ワンコイン
運動
匿名20件

■市社会福祉協議会への寄付

匿名6件

■なごや・よりどころサポート基金への寄付

名古屋中口ロータリークラブ

市社協サポーター（賛助会員）のご紹介

令和6年度・7年度会員（令和7年5月15日現在）（敬称略・順不同）

仁木 雅子
小池 博美
株式会社マルワ
鷺見 修
木村 剛

株式会社せがわ住機
タック株式会社
富田 哲生
三谷 洋一
北村 泰幸

株式会社サンエネック
上村 成良
永井 瑛資
Kのキンパ

東洋羽毛東海販売
株式会社
株式会社ウイングス
石田 栄美子
立松 博

王 神
カシワギ電気株式会社
竹中 規子
株式会社ラングローバル
船木 陽子

株式会社Progress
新田 洸平
匿名7件

ご寄託ありがとうございました

（令和7年1月16日～令和7年5月15日受付分） ※敬称略

■使用済切手・書き損じはがき・使用済テレホンカードなど

株式会社エクシオテック
天白まちづくりサポータークラブ
北区消費者クラブ
日東建材株式会社
名古屋ルーテル幼稚園
加藤都
手話サークル「太陽」

相生山緑地自然観察会
本山の手話教室有志一同
鯨城学園社会参加委員会
名古屋経営短期大学 介護福祉学科
中川区手をつなぐ育成会
築地優子
みなみ新体操クラブ

ボヤジ会
愛知時計電機株式会社
株式会社港北自動車
北鯨城会
大樹生命保険株式会社のお客様
寄鷺会
一歩前進の会

名古屋市シルバー人材センター
北部支部
稲熊敏長
井澤美紀子
うろじの家

■千種・東・北・西・中村・昭和・熱田・中川・南・守山・緑・名東・天白区社会福祉協議会受付分 匿名17件

■ご寄託いただいた使用済切手等は、次の団体に送付しました。

※使用済切手の仕分け整理は、「ポストの会」と「-なごや北-男ディ倶楽部」「医療法人名北会デイケアSole」の皆様にご協力いただきました。

団体名	活用方法
公益社団法人日本動物福祉協会	動物の虐待防止活動
NPO法人誕生日ありがとう運動本部	知的ハンディキャップ問題の啓発
ベルマーク教育助成財団	教育環境整備への助成



ひとに、ひたむきに。
社会福祉法人
名古屋市社会福祉協議会

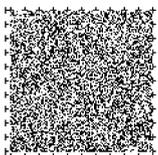
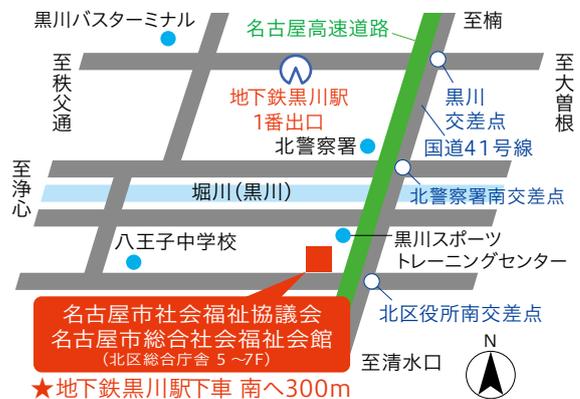
〒462-8558 名古屋市北区清水四丁目17番1号
名古屋市総合社会福祉会館内

TEL 052-911-3192

FAX 052-913-8553

ホームページ <https://www.nagoya-shakyo.jp/>

E-mail nagoyaVC@nagoya-shakyo.or.jp



※この広報紙は福祉基金を活用して作成しています。
※この広報紙は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。
※市内社会福祉施設、民生委員・児童委員、大学などへの配布及び公共施設に配架しています。

広報紙「ふれあい名古屋No.149」

発行日：令和7年7月1日

発行部数：13,000部